

臨床研究に関する情報公開

倫理審査委員会の承認を得て、下記の調査研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。なお、これまで福井大学医学部附属病院子どものこころの診療部と平谷こども発達クリニック発達外来を受診された方でデータの使用を拒否される場合は下記問い合わせ先へご連絡ください。ご連絡いただいた時点より集計対象から除外することを保証いたします。

【研究課題名】 発達障害特性の早期発見/見落とし防止のための調査研究

【研究期間】 研究機関の長の許可日 から 2030 年 3 月 31 日

【対象者】

福井大学医学部附属病院子どものこころ診療部が開設された2011年10月から現在までに当診療部を受診した方と、平谷こども発達クリニックが開設した2001年4月から現在までに当クリニック発達外来を受診した方。

【研究目的】

自閉症スペクトラム障害や注意欠陥多動性障害などの発達障害の特性は成人になっても続くものであり、発達障害特性の見落としはその子どもの成人期以降の生活にも影響を及ぼすと考えられ、避けなければならないものです。しかし、診断をする医師が子どもを観察する診察場面は非日常場面であり、生活場面での様子を把握するためには、保護者や教員の記入した質問紙やアンケートに頼る部分が多いことが事実です。よって、保護者や担当教員が質問紙やアンケートにおいて、子どものどのような部分に着目して記入しているのかを明らかにすることは、子どもの正確な評価のためにも重要であると思われます。

そこで、本研究の目的は、発達障害の診断を受けた子どもの①初診時に保護者と教員もしくは本人に記入してもらった「質問紙やアンケート」間の得点のパターンや関連を明らかにして診断別に特徴を明らかにすること、②初診時に行った「心理発達検査」得点のパターンや関連を明らかにして診断別に特徴を明らかにすること、③それらの「質問紙やアンケート」と「心理発達検査」得点の関連を診断種ごとに明らかにして診断別に特徴を明らかにすること、④上述した①から③の事柄と主訴などの診療録や言語聴覚士などによる療育指導の個別記録に記載された内容との関連を明らかにすること、としています。

この研究によって、子どもの特徴によって保護者や教員が見落としがちな発達障害の特徴が明らかにできます。その結果として、発達障害特性の見落とし防止や早期発見に寄与することができると思っています。

【研究の方法】

上記した対象に該当する方の、初診時に保護者と教員もしくは本人に記入してもらった

「質問紙やアンケート」、初診時に行った「心理発達検査」、診療録や療育指導の個別記録のデータを匿名化した上で集計し、統計学的な処理を行い、各々の関係性について検討します。学会発表や論文発表などの際、個人が特定されるようなエピソードや家族歴や生育歴に関しては、研究の本質が損なわれない程度に修正を加え、個人が特定できないように配慮します。

【研究に用いる試料・情報】

- 質問紙やアンケート：注意欠陥多動性障害（ADHD）の特性を測る「ADHD-RS」、自閉症スペクトラム障害の特性を測定する「ASSQ」と「AQ」と「PARS-TR」「M-CHAT」と「SRS」、感覚異常の特性を測る「感覚プロフィール」、異常行動の程度を測定する「ABC-J」、保護者の育児ストレスを測定する「PSI」
- 心理発達検査：知能指数を測定する「WISC（WAIS）」と「田中ビネー知能検査」、発達の程度を測定する「新版 K 式発達検査」、認知機能を測定する「K-ABC」「DN-CAS」、読み書きの特性を測定する「STRAW（STRAW-R）」「稲垣式読み検査」計算能力を測定する「稲垣式計算検査」「熊谷式算数障害チェック表」
- 診療録や個別記録：診療録の記載内容、言語聴覚士による療育指導の個別記録の記載内容

【研究結果の開示】

研究責任者および研究分担者は、研究対象者またはその代諾者より、研究結果について開示を求められた場合は、速やかに対応いたします。

【利益相反について】

利益相反とは、外部との経済的な利益関係（資金提供など）によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。

この研究は、研究者が所属する診療科の研究費を用いて行われます。この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けていないことを福井大学臨床研究利益相反審査委員会に全て報告し、利益相反状態でないと判定されています。研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

【研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手・閲覧方法】

本研究では、他の研究対象となる方の個人情報等の保護および本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することが可

能です。その入手・閲覧をご希望される際には下記「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。

【個人情報の開示等に関する手続き】

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

《福井大学における個人情報保護について》

http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/disclosure/privacy/

【研究組織】

1. 研究代表機関および研究代表者

福井大学教育学部 学術研究院教育・人文社会系部門 教員養成領域
発達科学講座 藤岡 徹

2. 共同研究機関および研究責任者

平谷こども発達クリニック 平谷美智夫

本研究は情報を匿名化して取り扱い、個人情報を厳重に保護して行います。なお、本研究や保有する個人情報に関するお問い合わせなどがございましたら、下記へご連絡ください。

【本学における研究責任者】

福井大学教育学部学術研究院教育・人文社会系部門 教員養成領域 発達科学講座
藤岡 徹

○ 問い合わせ窓口

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1

福井大学教育学部 学術研究院教育・人文社会系部門 教員養成領域 発達科学講座
藤岡徹

0776-23-0500（内線 2383） E-mail : tfujioka@u-fukui.ac.jp

○ 苦情の窓口

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3

福井大学医学部附属病院医学研究支援センター

電話 : 0776-61-8529

受付時間 : 平日 8 : 30～17 : 15（年末年始、祝・祭日除く）